

宇都宮市立富士見小学校 学力向上に向けた学校全体での取組

★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

重点的な取組	取組の具体的な内容	取組に関わる調査結果
見通しをもち、筋道を立てて考えようとする児童の育成	各教科で『つかむ』『考える』『深める』『確かめる』という指導過程を展開し、学び方の共通理解を図って授業を進めていく。 体験的学習を取り入れていく。	算数科の実態調査「算数の問題で新しい問題を解くとき、いろいろな考え方で解こうと頑張っている」の設問で、肯定的回答をしている児童が、6月78.3%に対し、1月は84.8%に向上した。
家庭学習の習慣化を高める指導	各学年における自主学習の方法を記載した「家庭学習のすすめ」を配付し、家庭への啓発を図る。 スタンダードダイアリーを活用して家庭学習時間をチェックしたり、学習計画表を作成させて実践させる。	学習内容定着度調査のアンケート「学校の授業以外に、1日どれくらい学習していますか」の設問で、平日の学習時間が1時間未満と回答している4～6年生の割合が市の平均より10ポイント以上高い。

★国・県・市の結果を踏まえての次年度の方向性

- ・5・6年生は、国・県・市の調査ともに算数の全観点において市の平均と比べて低い結果であった。特に算数科の数学的な考え方に関する観点は、市と比べて3観点の中で一番低い結果である。そこで、思考力を高める授業づくりに努めていきたい。今年度同様、各教科で『つかむ』『考える』『深める』『確かめる』という指導過程を展開し、学び方の共通理解を図る中で、思考力を高め合う授業づくりを目指していきたい。
- ・県・市の調査ともに「学校の授業以外に、1日どれくらい学習していますか」の設問で、平日の学習時間が1時間未満と回答している4～6年生の割合が市の平均より10ポイント以上高い。発達の段階に応じ、家庭学習の時間が確保できるよう、宿題や自主学習に取り組む指導を充実させていきたい。